

商店街をもっと見る。もっと知る。

# 京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2025.7 Vol.17

発行：京都府商店街振興組合連合会  
〒600-8009 京都市下京区四條通室町東  
入函谷鐘町78 (京都経済センター3階)  
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302  
URL：https://syouden.or.jp

## CONTENTS

インタビュー：堀川商店街協同組合 / 商店街の取り組み / 総会報告 / 学生から見た商店街  
京都高齢者あんしんサポート企業養成研修 / 企業から見る商店街の魅力 / and more...

次号予告 2025年9月末発行

京都祇園繩手繁栄会 インタビュー



堀川商店街協同組合  
理事長 乾 雅智さん

## 多様なつながりを力に変化する商店街

日本で初の店舗付き集合住宅として整備された地域密着型の商店街。今回は堀川商店街協同組合の乾理事長にお話を伺いました。

### 地域に根差す商店街のあゆみと変化

歴史ある堀川通沿いにある堀川商店街。この通りはかつて「堀川京極」と呼ばれ、戦前には道路の両側に250もの店舗が軒を連ねていました。戦後、「商売をする場所がない」という声に応え、昭和26年(1951年)に前身の「堀川京極会」を母体に「堀川商店街協同組合」として再建。全国で最初の店舗付き公営集合住宅が建設されたことでも大きく注目され、人々の生活を支える場所となってきました。現在もこの建物は残り、作家やアーティストたちも暮らしながら活動しています。時代が移り変わる中で、商店街のアーケードには、大学



老朽化のため改修工事された堀川団地

生の独自目線で制作した看板アイコンもあり、通りを彩っています。外からの視点と力が加わったことで、堀川商店街には少しずつ新しい動きが生まれているそうです。

### 外からの視点と力を活かした商店街の取り組み

「商店街の中だけで話し合うと、客観的なアイデアが生まれにくい」と話す乾理事長。外部の視点と力を商店街に取り入れる必要性を考え、2年前に「企画広報部」を立ち上げました。参加メンバーがアーティストや大学生、地域外の方から構成されていることが特徴で、商店街の取り組みをはじめ、店舗や地域の方々の発信する活動を中心に行なっています。これまでに、商店街を利用する子供たちによって制作される「ほりかわこども新聞」や地域の人を紹介する動画「堀川人」など多様に展開。「さまざまな方々の協力を得ながら堀川商店街を発信していく」と乾理事長の言葉通り、商店街の内と外の方達が繋がり、活性化に拍車がかかっています。



人と人のつながりを感じられて、昔ながらのあたかさを味わえる商店街でした。

私たち京都外国語大学の学生が取材しました！

### インタビューを終えて



高齢化や大型施設の進出など、厳しい状況に直面しながらも、維持ではなく発展していこうと、外部との連携にも力を入れている姿勢が印象的でした。例えば、商店街マップやアーケードに吊るされた看板アイコンなどは外からの声が反映されている一例です。商店街の内にとどまらず、外とつながりながら活性化に取り組む姿勢が、堀川商店街ならではの魅力だと感じました。このたびはご協力いただき、ありがとうございました。

昭和30年頃の堀川団地とチンチン電車

大学生と制作した看板アイコン



京都・西陣、老舗と新店が共存する生活密着型の商店街。街の喧騒から少し離れた落ち着いた街並みは、地域に根ざし、人々の日々の暮らしを支えています。

### 暮らしに寄り添う風情ある商店街

#### 商店街DATA

堀川商店街協同組合  
京都市上京区西堀川通下長者町下ル  
ル樹屋町1番地  
HP専用フォームからお問合せください  
https://www.horikawa-shotengai.com/  
●創立：1951年(昭和26年)  
●組合員数：29店舗



堀川商店街恒例の「ほり川まつり」さまざまな世代の交流の場になっています

ワークショップなどの企画も楽しめます

ほりかわこども新聞

## 歴史と笑顔がつなぐ交流の街

### 堀川商店街協同組合

堀川商店街の「ほり川まつり」は、戦後復興を支えた伝統の祭り。子どもも大人も楽しめるアットホームな雰囲気、地域と商店街、世代を超えた笑顔の交流を育んでいます。

### 地元住民から長年愛される「ほり川まつり」

毎年春と秋に2回開催される「ほり川まつり」は、戦後の商店街復興とコミュニティの再生を目的に始まった商店街恒例のイベント。商店街と来街者、地域社会の繋がりを育むこのお祭りは、子供がお小遣いの範囲で楽しめる出店内容にしていることに加え、商店街がお祭りを活用してワークショップを企画していることも特徴です。

また、温かいアットホームな雰囲気味わってもらえるよう心掛けていて、「さまざまな人が来場され、世代を超えた交流の場が生まれているのも魅力です」と乾理事長は話されます。お祭りでは至る所で同窓会のような雰囲気になっている面白い光景がみられるそうです。

さらに、お祭りを通じた地域交流の創出は、商店街店舗にとっても様々な経済効果が得られるとのこと。お祭りが終わった後も、人との繋がりが消えないことから、その後の来店促進や街全体の活性化にも繋がっていると話いただきました。

### 「笑顔」を「つなぐ」まちづくり

商店街では「織りなす歴史、つながる人、街、笑顔」というキャッチフレーズを掲げ、笑顔ある街を目指して日々努力されています。「まずは堀川商店街を知ってもらい、興味を持ってもらい、そしてこの商店街を通してもらおう。それがいま必要なことだと思います」と乾理事長。今後は海外観光客を含め来街者をより増やしていくことが目標とのこと、来街者の笑顔をつないでいくためにも、外部協力を得ながら、多くの人に商店街を知ってもらうことに力を入れていくそうです。

### 商店街の抱える高齢化と来街者数の課題

多くの商店街と同様に、堀川商店街でも高齢化が課題となっています。また、商店街規模が300メートルという立地のため、他の商店街に比べ来街者の出入りにも限界がある点が挙げられます。商店街では「知ってもらい、興味を持ってもらうことが大切」という考えから、積極的なSNS活用運営やインターネットラジオを通じた情報発信を行なっています。ほかにも防犯カメラを通じた来街者の動向分析など、来街者数増に向けた取り組みを始めています。

### お店のユニークな取組みや工夫をご紹介します

## 店舗Pick Up! 商店街図鑑 堀川商店街協同組合

### 子供たちの学びの場&地域の人が集える場所

#### knocks! horikawa



子供の学びの場とまちのシェア型図書館が一つになった「knocks! horikawa」さん。「まなび基地 juku HOPE」「みんなの図書館」「こども音楽クラブ」の3つの団体が共同運営している珍しい施設。なぜ商店街に拠点を決めたのかと何うと、「地域の子供たちが徒歩圏内

で集まれる居場所を作りたかったからなんです」とのこと。実はこの堀川商店街は3つの学区の境目に位置し、各学校からも近いことで、多くの子供たちが集まりやすいそうです。まなび基地では、社会の気になることが主体的に学べ、子どものやりたいことを応援するカリキュラムを実践しています。



knocks.horikawa@gmail.com  
営業 / 10:00~19:00  
定休 / 不定休

### ご縁・応援・貢献の輪を広げる夢ある番組!

#### ゆめのたね放送局 京都スタジオ



「ゆめのたね」は2015年に開局されたインターネット回線を活用したラジオ放送局(全国に14スタジオ)。京都スタジオのオーナー小川さんはご自宅も近く、堀川商店街を応援したいという思いから、ラジオ事業を商店街で始められたそうです。

ゆめのたね放送局では、月会費を払えば誰でもパーソナリティとなり本格的な番組放送が持てるのが特徴。個性や想いを自由に発信できる場所、誰でも気軽に夢を語り共有できる場所として、その人の夢を応援し、地域や社会への貢献を大切にしながら番組制作しているそうです。現在、子供から大人、年配の方、会社員の方まで男女問わず、たくさんの方がパーソナリティとして活躍されています。商店街からも「こちら上京コーポ部 SSCR」として番組を発信しています。



乾理事長もパーソナリティとして出演中!

yumenotane.kyoto@gmail.com  
営業 / 10:00~21:00  
定休 / 毎月末日



HPはこちら

取材・文：京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科 不破こころ(4年次)、古瀬勇吹(2年次)